

150 X 200 Mm ラボ用加熱ロールプレス機 電極シート用二本ロールミル

商品番号: DG14



前書き

リチウム電極シート用の150 x 200 mmラボ用加熱ロールプレス機です。独立制御可能なロール、0~3 mmの調整可能なギャップ、15トンの圧力、可変速度による高密度化機能を備えており、電池材料の研究、パイロットライン開発、貴金属の試験に最適です。

詳細を学ぶ

用途	説明	主な利点
リチウムイオン電池電極のカレンダー加工	コーティングおよび乾燥後の小規模電極製造工程において、正極または負極シートを圧縮します。	ラボ評価用に電極シートの厚みを減らし、密度を高めます。
クリーンエネルギー材料研究	制御された加熱圧延条件下でのリチウム電池板材料の応答を研究します。	独立したロール温度制御と調整可能なライン速度により、プロセス条件の調査をサポートします。
大学の電池研究室	コンパクトな電極シート形式を使用した教育、実験作業、研究プロジェクトをサポートします。	単相220V電源と200 mmの最大作業幅が、ラボや実験ラインでの使用に適しています。
企業の電池試験ライン	生産指向の開発作業の前または並行して、小ロットの電極圧延を行います。	0-3 mmの調整可能なギャップと0-6.0 m/minのライン速度により、制御可能な処理設定を提供します。
貴金属の手動圧延	ラボでの材料準備や研究用に、金や銀を少量圧延します。	加熱ロールと調整可能な間隔により、専用の手動圧延機能を提供します。
非鉄金属のサンプル処理	銅、アルミニウム、その他の非鉄材料を少量処理します。	HRC62のロール表面と最大15トンの圧力により、サンプル材料の制御された圧縮をサポートします。
電極密度最適化の研究	異なるロールギャップ、速度、ロール温度設定における材料の応答を比較します。	機械的ギャップ調整、無段階速度制御、独立制御ロールにより、体系的な条件変更が可能です。
先端材料の圧縮試験	加熱二本ロール圧縮が研究手順の一部であるシート状材料の成形および高密度化を行います。	精密なロール真円度と200 mmの作業幅により、明確なラボ用圧延インターフェースを提供します。

パラメータ	仕様
サイト識別子	DG14
電源	220V, 4KW
ロール温度	約150°C
二本ロール温度制御	独立して制御および自由な調整が可能
圧力ロール寸法	Phi150mm x 200mm
圧力ロール表面硬度	HRC62
圧力ロール真円度	<= +/-2マイクロメートル

パラメータ	仕様
有効ギャップ	0-3mm 調整可能
作業速度	無段階速度変化; 調整可能なライン速度 0-6.0 m/min
最大作業幅	200mm
ロール表面硬化深さ	5mm
最大圧力	15T
ロール表面仕上げ	参照資料に記載なし